

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイPOP			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 21日		～	2025年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2025年2 月 21日		～	2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しむ且つ安全・安心に過ごすことを考え、日々ミーティングを行い、連携をとれてるところ。	スタッフ同士役割を決めたり、声を掛け合ってる。	気になることはミーティングにて振り返りの時間を多くとると共に、スタッフが何でも言いやすい環境を強化する事。
2	プログラムがマンネリ化しないように、子どもたちと定期的に活動会議を行い、子どもたちが挑戦したい事を取り入れている。	固定にならないように、スタッフだけではなく、パートスタッフにも活動の担当になってもらっている	個別に取り組めるプログラムの時間も考えること。
3	Instagramや発達ナビで日々の活動を更新してること。	活動時に写真を撮り、グループLINEにてアルバムを作成し、保存してること。	目的や意図をしっかり記載し、第三者が、よりわかりやすいように作っていくこと。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や地域で子どもと活動する機会がないこと	近くに保育園や認定幼稚園等は存在するが、こちらからアプローチが出来ていない。また、コロナの影響もあり、計画が立てにくかった。	タイミングをみて、近隣の園と関われるイベントを計画し、誘ってみる。
2	父母の会がなく、親御さん同士の交流を図れない事。また、親子参加のプログラムがない事。	当事業所を利用されてる親御さんが共働きや母子家庭等、各々で家庭に事情があり、集まりにくい為。また、必要としての親御が少ない為。	まずは少人数でも開催できるかを模索していく必要がある。また、その中から、家族同士の交流を図っていき、どうしたら参加人数を増やせるかを話し合っていく。
3	ペアトレーニングや家族参加が出来る研修の機会や情報提供が出来ていない。	情報を持ってるものの、提供が出来ていないのが現在まで続いている。	面談を実施した際、情報提供が欲しい御家族には、提供させていただく。